

横浜市立初音が丘小学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
知	「ふれあいいっぱい、夢いっぱい、笑顔でチャレンジ 初音っ子」 伝えあう力の育成 基礎的・基本的な内容の定着
徳	縦割り活動による体験
体	早寝 早起き 朝ご飯 食教育の実践
公	あいさつ 言葉遣い 清掃活動の充実
開	社会の変化に対応する力の育成

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	食事や睡眠、日常的な運動による規則正しい健康の保持・増進を図る生活の実現を目指します。	・月1、2回のバランスイーナタイムによる食事の重要性、食事の喜び、楽しさを追求する。 ・体力向上1校1実践運動を推進して、運動する喜びと成果を実感できるよう取り組む。 ・学校保健計画に基づいて、日々の健康づくりと病気やけがの予防、定期診断や学校保健委員会を通じての取り組みを通して、健康生活の行動化をすすめる。
担当	運動委員会	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態（令和元年度新体力テストの結果を踏まえて）

- 新体力テストの結果をみると、ほとんどの種目・学年において全国平均及び市平均を下回る傾向にある。
特に、「反復横跳び」「ソフトボール投げ」において平均を下回る児童が多い。
- 健康の状況（食・外遊びの状況など）
朝食は全体の80%～90%が食べて登校している。
食の知識に関しては、よく身に付いているが、実践できている児童は多くはない。
休み時間校庭で体を動かして遊ぶ児童が少ない。よく体を動かして遊ぶ児童とそうでない児童の二極化が見られる。
- 各種健康診断の結果
【体 格】市平均とほぼ同じか上回っている児童がいる。低学年から体の大きな児童が数名ずつ各学年にいる。
【眼 科】低視力児童が多い。【耳鼻科】特に問題ない。
【歯 科】むし歯の保有率は高くないが、正しい歯磨きの仕方ができていない児童が多い。
- 保健室の利用状況や給食指導の実態・給食の残菜など
【保健室利用状況】ごく一般的な利用数。
【給食指導】残菜はかなり少なく、バランスイーナタイム等により知識は豊富にもっている。
- 子どもの健康に対する知識の獲得状況
保健学習、保健指導で学んではいるが、なかなか実践できていない状況がある。理解はしているができないことが多い。
- 地域で活発に行われているスポーツ
地域には、野球・剣道・空手・バスケットボール・サッカーなどのチームがあり、所属している児童もいる。

(2) 体力の概要と要因の分析

新体力テストの結果から、ほとんどの項目が全国平均、市平均を下回っている。特に、ソフトボール投げ、20mシャトルラン、反復横跳び、握力については、平均を下回る児童が多い。投能力については、運動経験の少なさが影響しているものと思われる。持久力、巧みな動き、素早い動きができるように運動機会を増やして体力を高めていきたい。日常の体育学習の充実を図っていきたい。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

○運動に向かう姿勢を育むとともに、基礎体力となる持久力の向上を図る。外遊びの習慣化につながるよう、楽しい授業を展開し、運動の日常化を図っていく。

《他教科での取組》

○家庭科

①食の重要性（食事の重要性、喜び、楽しさを理解する）②心身の健康（心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の取り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。

道徳・特活（行事）・総合

○運動会では、体育科で培った資質・能力を発展させて子どもたちが充実感を味わえるようにする。

○特別活動と連携し、食育の充実を測る。朝学習の時間にバランスイーナタイムを設定し子どもたちが食事について日常生活を振り返り、食に対しての知識を深めたり、意識を高めたりする時間を設定する。

課外活動

○学校保健委員会の取組

○体育大会前の特別練習

○夏季水泳教室

○体力向上1校1実践運動（下記参照）

令和3年度 初音が丘小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 体力向上プロジェクト

《ねらい》 運動する機会を確保し、運動意欲の高まりから体力向上を目指す

《内容》 体育科授業の質を高めるのはもちろん、業間の時間の充実を図る。
今年度はいくつかの取組を考えた。

実施時期	実施内容	狙いとする力
6・7月	〈倒せ！段ボールがいじゅう！〉 段ボールで的を作り、思いっきり的に向けてボールを投げ、倒せるかどうかに取り組む。	投力
11月・2月	〈初音っこ！短縄選手権！〉 低学年・高学年に分け、年間2回「前跳び」「後跳び」「あやとび（前）」「二重跳び」でどれだけ跳べるかを競い合う。（回数の伸びにも注目する）	持久力・巧みな動き

※その他可能な限り保土ヶ谷区体育協会の方をお呼びし、様々な運動に触れる機会を保障していきたい。

- 指 標： ①新体力テストの結果から検証する。（市平均を超えている人数の経年変化に着目。）
②生活実態調査から検証する。
③体育科基本調査から検証する。